

## 令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	広島建設青年交流会												
事業等の名称	広島県内建設業界を知ってもらう説明会												
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）												
主な取組区分	講演、講座、説明会												
<p>1. 実施時期</p> <p>令和元年6月17日 県立西条農業高等学校  令和元年6月28日 県立広島工業高等学校  令和元年10月16日 呉工業高等専門学校  令和元年12月4日 広島工業大学専門学校</p> <p>2. 実施場所  （上記に記載）</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）</p> <table border="0"> <tr> <td>県立西条農業高等学校</td> <td>緑地土木科1・2年生</td> <td>約80人</td> </tr> <tr> <td>県立広島工業高等学校</td> <td>土木科3年生</td> <td>約40人</td> </tr> <tr> <td>呉工業高等専門学校</td> <td>環境都市工学科2年生</td> <td>約44人</td> </tr> <tr> <td>広島工業大学専門学校</td> <td>土木工学科1年生</td> <td>約29人</td> </tr> </table> <p>4. 共催・単独等の開催状況  広島県、（一社）広島県測量設計業協会、（一社）広島県建設工業協会、広島建設青年交流会による共催</p> <p>5. 事業等の内容  「県内の建設業界への就職希望者の増加を図ること」を目的として、県内の土木系学科を有する高校、専門学校、高専において、建設業の地域貢献、やりがい等について講義を行いました。2部構成で、第1部は、広島県土木建築局建設産業課、広島県測量設計業協会、広島建設青年交流会が、それぞれ行政、コンサルタント、建設業者の立場から、社会資本整備の状況や業界の魅力について、スライドを用いて説明を行いました。また、本事業のために作製したPR動画を視聴してもらいました。第2部は、それぞれの学校の卒業生や若手技術者による意見交換会を実施しました。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）  土木に関わるそれぞれの立場から社会的役割や仕事のやりがいなどを直接伝えることで、土木の仕事を知ってもらうことができました。卒業生や若手技術者にも参加してもらうことで、より身近に感じてもらうことができました。平成27年度から本事業を始めて5年目になりますが、この学校訪問を通じて就職先を決めた学生もお</p>		県立西条農業高等学校	緑地土木科1・2年生	約80人	県立広島工業高等学校	土木科3年生	約40人	呉工業高等専門学校	環境都市工学科2年生	約44人	広島工業大学専門学校	土木工学科1年生	約29人
県立西条農業高等学校	緑地土木科1・2年生	約80人											
県立広島工業高等学校	土木科3年生	約40人											
呉工業高等専門学校	環境都市工学科2年生	約44人											
広島工業大学専門学校	土木工学科1年生	約29人											

り、入職支援に効果があると考えられます。また、テレビ取材もあり、メディアを通じて土木業界への入職促進活動を行っていることも社会全般に広く知ってもらうことができました。

#### 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案

専門を専攻している学生については既に土木に関心があるため、これまでの学校は継続した上で、普通科や専門外の学校にも広げていく必要があります。また、学生のみではなく、就職の際に影響力がある親へ業界のPRをしていく必要もあります。広島県など行政機関と連携して、県立大学に土木科を創設したり、また、地元建設業界に就職すれば授業料免除にするなど、政策的に土木業界への入職支援をできれば、より大きな効果が得られると考えられます。

#### 8. その他

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

令和元年6月17日 広島県内建設業界を知ってもらう説明会（西農）開催

場所：広島県立西条農業高等学校

本事業も5年目に入りました。今年の第一弾は東広島市の広島県立西条農業高等学校で実施しました。今年も昨年に引き続き、早い時期から進路先として建設業を意識していただくために緑地土木科一年生・二年生を対象としました。先輩のユーモアも交えた生の声を聞き、数多くの質問が集まり、建設業への関心の高さがうかがえました。



# 西農で建設業説明会

約80人に「誇りとやりがい」「アピール」  
島界団体  
広業

建設業界への就職希望者確保のため、広島県と業界団体が連携して開いている建設業説明会が17日、県立西条農業高等学校であり、県と広島建設



若手技術者との意見交換

青年交流会（伏見光晔会長）、（一社）広島県測量設計業協会（森脇克彦会長）の幹部らが参加。同校緑地土木科1、2年生約80人と触れ合い、建設業の役割や魅力、やりがいなどを伝えた。

事業は、土木系学科を有する県内高校を対象に2015年から毎年実施されているもので、今年で5年目を数える。

説明会ではまず、広島県土木建築局建設産業課の坂本純スウネ主事が県内の社会資本整備状況や建設業界の役割について説明。（一社）広島県測量設計業協会の平賀勝秀青年部会長（ウムヴェルト）は、建設コンサルタント、地質調査、測量・設計などの建設関連業の基礎知識を解説したほか、

求める人材、労働環境、福利厚生等についても触れ、「かなり改善されているが、皆さんが入る頃にはもっと良い業界になるよう頑張る」と述べた。

また、広島建設青年交流会の山田堅司監事（増岡組）は、社会資本整備や災害対応に尽力する建設業の重要性を強調するとともに、近年の働き方改革による労働環境の改善状況、他産業と比較して高い給与水準などもPRし、「誇りとやりがいがある仕事。土木を学んだ皆さんにはぜひ建設業に関わってほしいし、一緒に働ける日を楽しみにしている」と呼びかけた。

このほか、県や会員企業で若手技術者として働く同校OBと学生との意見交換会も開かれ、現在の職

場を選んだ理由や、仕事内容、学生時代に力を入れたことなどについて個別に発表。「建設業界に入るなら、学校で学んでいることは必ず役に立つのでしっかり学んでほしい」「仕事で重要なのは、問題に向き合う力。やる気がある子を企業は見ている」となどアドバイスを送った。

県によれば、同様の説明会は今年28日に県立広島工業高等学校でも開くなど、今年度も県内5校程度で開催予定。さらに、新たな取り組みとして建設企業ガイダンス（合同説明会）、建設業女子カフェなども企画しているという。

坂本主事は、「皆さんが建設業に興味を持つきっかけとなり、今後の進路選択の参考にしてもらえれば」と話していた。



令和元年6月28日 広島県内建設業界を知ってもらう説明会（県工）開催

場所：県立広島工業高等学校

第二弾の説明会は県立広島工業高等学校土木科三年生の皆さんを対象に実施しました。昨年に引き続き、この事業のために撮影した業界 PR 動画を視聴してもらいました。その後は各説明及び若手技術者（県工卒業生）との意見交換会を行いました。生徒の皆さんより様々な質問をしていただき、将来への関心の高さを感じました。









(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	広島建設青年交流会
-----------	-----------

事業等の名称	子どもたちに絵本を贈る事業
主な対象者	小学生、中学生（保護者含む）
主な取組区分	その他
<p>1. 実施時期 令和元年9月～11月</p> <p>2. 実施場所 呉市、江田島市、東広島市、竹原市、三原市、府中市、府中町、海田町、熊野町、坂町の6市4町内の全小学校 129校</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 対象地域内の小学校全児童 約34,585人</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 （一社）広島建設工業協会、（公財）建設業福祉共済団、西日本建設業保証（株）、広島建設青年交流会による共催</p> <p>5. 事業等の内容 広島県内の小学生の子どもを対象として、各小学校に建設業に関する絵本を寄贈し、建設業界をもっと知ってもらい「知識を深めてもらう」、「建設業のイメージアップを図る」等の効果を期待し、将来的になりたい職業として選択してもらい、若手入職者をより多く確保することを目的として実施しています。</p> <p>4年前から広島県内の各市町の小学校を訪問しており、今年度は最終年度として、上記の地域の各小学校を訪問し、下の7冊の絵本を寄贈しました。また、絵本に加え、全児童を対象に建設学習帳（自由帳）を寄贈しました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・土木の歴史絵本シリーズ5巻（瑞雲舎） 「暮らしを守り工事を行ったお坊さんたち」 「川を治め水と戦った武将たち」 「技術と情熱をつたえた外国の人たち」 「土木技術の自立をきずいた指導者たち」 「海外の建設工事に活躍した技術者たち」</li><li>・しごとば東京スカイツリー（ブロンズ新社）</li><li>・図解絵本 工事現場（ポプラ社）</li><li>・建設学習帳（自由帳）</li></ul>	



6. 期待される効果（実施結果：効果）

建設に関わる絵本を小学校に寄贈することで、多くの小学生に建設について興味を持ってもらうことができました。多くの小学校では新規の図書購入が削減されてきている中、絵本の寄贈を大変喜んで頂けました。各校を訪問し、校長、教頭に直接手渡しをすることで、将来を見据えて地道に建設業のすそ野を広げる活動をしていることを知って頂き、教育者の視点から建設業に対する認識を深めて頂くことができました。

7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案

上記の広島県内の市町の小学校に絵本を配布する際、当会会員が手分けをして、各校を個別訪問しており、配布に際し各会員に手間と時間の負担を掛け、会員企業への負担が大きくありました。また、今年度最終年度で、広島県内のすべての小学校に同一の絵本を配布することが出来ましたが、今回寄贈した絵本の中には、絶版になったものもあり、今後本事業を継続する場合、全ての小学校に配布できるだけの冊数があり、複数年出版される見込みがある絵本を選定する必要があります。

8. その他

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

## 令和元年9月12日～ 令和元年度事業 子供たちに絵本を贈る事業

場所：広島県内 6市4町

平成28年度よりスタートした『子供たちに絵本を贈る事業』も、今年度で4年目となりました。今年度は、呉市（36校）、江田島市（6校）、東広島市（34校）、竹原市（9校）、三原市（20校）、府中市（8校）、府中町（5校）、海田町（4校）、熊野町（4校）、坂町（3校）の全129校、生徒数約34,585人を対象とし、絵本及び建設学習帳（自由帳）を当会会員が持参、寄贈させていただきました。今後、一人でも多くの子供たちに建設業に興味を持ってもらうべく、これからもこうした事業を継続していきたいと考えております。







県内の若手建設業者らでつくる  
広島建設青年交流会は12日、府中  
市立栗生小（府中市栗柄町）に、  
建設や工事に関する絵本7冊を贈  
った。  
青年交流会では、子どもたちに  
建設業に興味を持ってもらおう  
と、2016年度から児童に絵本

### 府中市 栗生小に業者贈る



寄贈された絵本  
を手にする児童  
（府中市で）

## 建設業 絵本で興味持って

を贈る事業に取り組んでいる。今  
年度中に実施する栗生小など6市  
4町の計129校で、県内全ての  
公立小への寄贈を終えるという。  
体育館で行われた贈呈式には、  
全児童約120人が出席。あいさ  
つに立った青年交流会の伏見光暁  
会長が「建設業界は働く人が減っ  
てきている。本を読んで、働きた  
いと思ってほしい」と呼びかけた。  
湯藤由佳校長は「本を読むこと  
で好奇心を刺激し、興味をかき立  
ててくれれば」と述べた。寄贈さ  
れた本は、図書室で貸し出すほか、  
授業でも活用していくという。  
この後、6年生が東京スカイツ  
リーの工事の様子や、大工事を指  
揮した歴史上の偉人らを紹介した  
本の内容を説明。児童の1人は「歴  
史の勉強にも活用していきたい」  
と話していた。



# 三原西小など129校に建設絵本

## 「街をつくり、守る」子供にも

建設  
三原市  
青年交流会

広島建設青年交流会（伏見光暁会長）らが毎年実施している県内公立小学校への絵本贈呈事業

で、伏見会長（伏光組）と前川拓也副会長（栗本）、大地一義幹事長（山陽建設）が18日、三原市立西小学校を訪れ、建設関連絵本などを寄贈した。今後、34人の会員が分担し、10月末までに呉市、東広島市、三原市など10市町の全公立小学校129校に手渡して配る。

建設業は、道路・橋・河川等のインフラ整備や維持管理、災害時の初動対応、応急復旧などの役割を担うなど地域社会の安全・安心を支えている

が、技術者の減少と高齢化の問題は日々深刻さを増している。

絵本贈呈事業は、重機などに関心がある小学生の頃から建設業に親しんでもらい、将来地元の建設業に携わる若者を少しでも増やそうと2016年度から始めたもので、趣旨に賛同した（一社）広島県建設工業協会、公益財団法人建設業福祉共済団、西日本建設業保証が資金面をバックアップ。4年目となる今回で県内全470校への配布が完了する予定としている。

三原西小での贈呈式では、伏見会長らが古本節郎校長に事業の趣旨を説

明したのち、「しごとば東京スカイツリー」「図解絵本工事現場」「土木の歴史絵本」など建設関連絵本7冊と全生徒分の「建設学習帳」（自由帳）を寄贈。

古本校長は、昨年の7月豪雨災害で三原市でも沼田川周辺などが被災し、応急復旧工事などで地元建設業者が大いに活躍したことを念頭に、「防災意識や建設業への関心が高まっているし、ものづくりに興味がある子はたくさんいる。将来の可能性を広げるキャリア教育の意味でも絶対にプラスだ」と歓迎。

絵本は、学級文庫として一定期間各クラスに回したのち、図書館の蔵書として活用するとし、「イラスト中心に非常にわかりやすく描かれている。

朝会で生徒らに紹介し、職員にも回覧しようと思おう」と述べた。

終了後、伏見会長は「建設業は子供の頃はみんな好きなのに、なぜか大人になるにつれて嫌われてしまう。われわれの活動を通じて『街をつくり、守る』建設業の役割を理解してもらい、かっこいいと思ってもらえれば嬉しい」と話していた。



左から伏見会長、古本校長、大地幹事長、前川副会長



カーを進呈しました。

#### 6. 期待される効果（実施結果：効果）

約 13,000 人の親子連れ、家族連れの来場者があり、非常に多くの一般の方に参加して頂き、建設業について広く知ってもらうことができました。建設業界に関わる多岐に渡る分野の業界団体からの出展があり、それぞれの団体の特徴を生かした内容であったため、多くの子どもたちに楽しく体験してもらうことができました。また、フェア全体やブースによっては、参加者がお持ち帰りできるものが用意されており、家に帰った後も触れて頂くことができました。

当会の出展内容においても、非常に長い待ち行列ができるなど、関心が高かったと思われま。す。「事前に練習しておいたので当日は沢山スーパーボールをすくうことができました。」といった声を頂くなど、子どもをはじめ、親子で楽しんで頂くことができました。玩具のショベルですが、楽しかった思い出が、建設業を身近に知って頂く良い機会になったと思われま。す。

#### 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案

昨年につき、非常に多くの来場者が来たため、子ども連れで長時間待つて頂く状況が発生しました。昨年よりおもちゃショベルの台数を約 2 倍に増やしたり、一斉にスタートすることでプレー時間を厳守する等工夫をしましたが、来場者が多く長時間待つていただく状況が発生しており、当会会員のスタッフ人数にも限りがあるため、運営体制の強化が必勝と考えられま。す。

事業予算が、一部の業界団体に負担が偏っており、協賛団体を増やしたり、県の予算増など、一層の検討の余地があると思われま。す。

#### 8. その他

注 1：提出資料は電子データとしてください。

注 2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。



令和元年10月5日 「ひろしま建設フェア2019」開催

場所：広島マリーナホップ

広島県と建設業団体主催による「ひろしま建設フェア2019」に参加し、昨年引き続き、「おもちゃのショベルによるスーパーボールすくい」のキッズ体験ブースを出展しました。当日は天候にも恵まれ、会場には未就学児から小学生、家族連れなど約1万3000人の来場者で賑わいました。当会ブースにもフェア開場直後から大変多くの方にご参加いただき、大盛況のうちに終わることが出来ました。



# ひろしま建設フェア 2019

## 1万3000人の家族連れでにぎわう

と団体  
県島界  
業業

広島県と広島県建設工業協会、広島県建設業協会連合会、建設産業専門団体中国地区連合会、広島県測量設計業協会等の業界団体は5日、広島市西区の広島マリーナホッ

プで「ひろしま建設フェア2019」を開催した。建設フェアは昨年引き続き2回目、会場は未就学児から小学生、家族連れなど約1万3000人の来場者でにぎわった。

オープニングセレモニーでは、主催者を代表して広島県の齋藤博之土木建築局長が「業界団体には昨年7月豪雨災害の復旧・復興をはじめとする社会資本整備、日頃の緊



テープカット



フェアのもよう

急対応や維持管理等に協力していただいている」としたうえで、「建設フェアは将来建設業の担い手となる子供らを対象に建設業への親しみや憧れを持ってもらうため開催している。きょう一日楽しい体験をしてほしい」と挨拶したあと、齋藤局長、広島県建設工業協会の檜山典英会長、広島県建設業協会連合会の空久保求会長、建設産業専門団体中国地区連合会の川頭省三会長、広島県測量設計業協会の森脇克彦会長がテープカットして開幕した。

会場に設置した広島県建設工業協会(ゲーム感覚で建設重機の操作を体験しよう)、広島県建設業協会連合会(建設重機の展示、試乗体験)、建設産業専門団体中国地区連合会(さかんのお仕事・ドロ団子、壁塗り体験、とびのお仕事・足場、滑車、VR)、広島建設青年交流会(玩具シヨベルによるボールすくいゲーム)、広島県測量設計業協会(建設コンサルタントのお仕事・橋梁設計体験、地中探査機器実演展示、橋梁点検車の展示等)、広島県生コンクリート工業組合(まちを守るコンクリートミキサー車で遊ぼう)、呉工業高等専門学校(コンクリートでキャンドルスタンドをつくってみよう)の体験型ブースでは、子供らが遊びを通じて建設の仕事を経験するなど、スタンプラリーもあり、楽しく学んでいた。

また、マーマイドスペース内では土木学会中国支部による「第12回身近な土木を描いてみよう! 図画コンクール」の作品展示や表彰式が行われた。

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	広島建設青年交流会
-----------	-----------

事業等の名称	広島工業大学との交流事業								
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）								
主な取組区分	体験学習、職業体験								
<p>1. 実施時期 令和元年 11 月 29 日</p> <p>2. 実施場所 国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所（現場実習） 広島工業大学（意見交換会）</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）</p> <table><tr><td>広島工業大学 環境土木工学科 3 年生</td><td>約 60 人</td></tr><tr><td>国道交通省中国地方整備局</td><td>約 20 人</td></tr><tr><td>広島県</td><td>約 3 人</td></tr><tr><td>広島建設青年交流会</td><td>約 27 人</td></tr></table> <p>4. 共催・単独等の開催状況 広島県建設工業協会、広島建設青年交流会による共催</p> <p>5. 事業等の内容</p> <p>第 1 部 国土交通省中国地方整備局中国技術事務所にて、舗装実体験、実橋教材モデル打音点検実習、函渠モデル見学、災害対策用機械見学（遠隔操作バックホウ）を実施しました。</p> <p>第 2 部 学生は 3～4 人程の小グループに分かれ、それぞれのグループに国土交通省、広島県、広島建設青年交流会の会員、若手技術者も加わり、各グループで意見交換を行いました。</p> <p>第 3 部 会員企業による企業説明会を行いました。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 中国技術事務所での舗装工事のアスファルト合材敷き均し、小型転圧機での締固めなどの実体験では、普段見ることのない舗装工事を間近に見て、また、実際に作業を行うことができ、建設現場をより身近に感じてもらい、非常に興味を持ってもらうことができました。また、意見交換会では、小グループで行政や会員企業から比較的年齢の近い若手技術者が参加することで、学生に近い目線対話を行うことが出来ました。また、今年度は新たに第 3 部として、当会会員企業による企業説明会をし、本事業を支えているスタッフの企業各社にも、学生に対して PR する機会を設け、会</p>		広島工業大学 環境土木工学科 3 年生	約 60 人	国道交通省中国地方整備局	約 20 人	広島県	約 3 人	広島建設青年交流会	約 27 人
広島工業大学 環境土木工学科 3 年生	約 60 人								
国道交通省中国地方整備局	約 20 人								
広島県	約 3 人								
広島建設青年交流会	約 27 人								



員企業と学生双方に対し、メリットを出すことができました。本事業は、今回で9年目となり、継続してきたことで、学生だけでなく、広工大の先生にも理解が広がってきており、地元建設業の意義を伝えることが出来ました。

#### 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案

今回初めて舗装工事の実体験を行いました。舗装職人が学生に指導する準備があまりできていなかったため、学生に作業指導をするのに手間取りました。学生向けには、長靴を用意しましたが、一部参加された職員の方には安全靴や長靴等の準備がなく、一般靴で熱い舗装の上を歩いており、安全性について検討の余地がありました。また、今回第3部の企業説明会を初めて行いましたが、学生側にまだ就職についての意識が少なく、積極性が見られませんでした。

#### 8. その他

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

# 働き方



あいさつする森協会



熊澤所長

「協会の持続・発展」

「新しい技術が出てきて、新しい技術が出てきている。こうした技術を取り入れながら効率的に社会資本整備を進めるため意見交換しなごらう。良い成果、役割を果たしていきたい」と述べた。

「働き方改革の推進」は、建設コンサルタント

## 広工大と交流イベント

### 広島建設青年交流会ら

### 舗装体験などで「やりがい」伝える

広島建設青年交流会(伏見光晴会長)が地元建設業への理解を深めるため、同大学の学生らと「建設業の誇りとやりがい」をテーマにした交流会を開催した。

交流会には、就職活動で辛かったことなどについて意見交換。今回の交流会は、建設業界から若手生との研修会及び意見交換会が先月29日にあり、同会のメンバーと社員、同大学の学生らと「建設業の誇りとやりがい」をテーマにした交流会を開催した。



意見交換の模様



舗装の実体験

「建設業は、学生と交流し、建設業界から若手生との研修会及び意見交換会が先月29日にあり、同会のメンバーと社員、同大学の学生らと「建設業の誇りとやりがい」をテーマにした交流会を開催した。

交流会には、就職活動で辛かったことなどについて意見交換。今回の交流会は、建設業界から若手生との研修会及び意見交換会が先月29日にあり、同会のメンバーと社員、同大学の学生らと「建設業の誇りとやりがい」をテーマにした交流会を開催した。

国土交通省は2日、暮約や下請代金の支払など、下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について「建設業EIO」を建設業EIOに発出した。資金需要の増大が見込まれること、適切な下請契、社会保険への加入徹底、

## 天満市長に要請書提出

### 地元企業の活用等求める

原市協 三建設

【福山】三原市建設協会(三原市港町3丁目、深山隆一会長)は2日、深山会長をはじめ、各地区を代表する協会幹部が三原市役所を訪れ、天満市長に要請書を提出(写真)。地元企業の活用など要望3項目について検討・改善を求めた。

深山会長は「昨年の西日本豪雨に続き、今年も東日本の広い範囲で甚大な被害が発生しているが、被災地の一日も早い復旧・復興には、各地域の建設企業の役割が不可欠。我々協会も関係機関との連携・協力のもと、災害復旧工事の円滑な実施に向け全力で取り組んでいる」と強調。「協会員48社の要望を取りまとめ

「建設業は、学生と交流し、建設業界から若手生との研修会及び意見交換会が先月29日にあり、同会のメンバーと社員、同大学の学生らと「建設業の誇りとやりがい」をテーマにした交流会を開催した。

交流会には、就職活動で辛かったことなどについて意見交換。今回の交流会は、建設業界から若手生との研修会及び意見交換会が先月29日にあり、同会のメンバーと社員、同大学の学生らと「建設業の誇りとやりがい」をテーマにした交流会を開催した。

## 110団体に暮れの